



万博「絆」Kizuna 通信



Vol. 6

2024年5月29日 発行

万博は、参加国や企業が世界共通の課題解決に向けて最先端技術や方向性を示す「未来社会の羅針盤」です。

地元大阪が出展する大阪ヘルスケアパビリオンでも、産官学民一体となって、25年後の「ミライの自分」に出逢い、2050年の都市生活を体験していただけるよう準備を進めています。万博の成功に向けて、全力で取り組んでいきます！

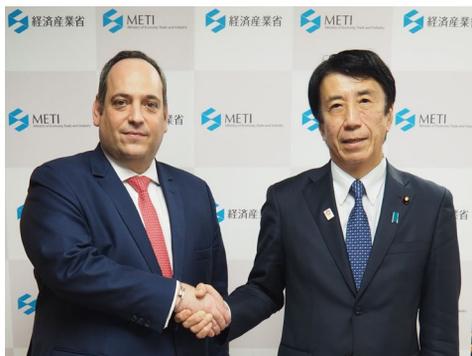
吉村洋文 大阪府知事



石毛博行 博覧会協会事務総長
吉村洋文 大阪府知事
自見はなこ 国際博覧会担当大臣
横山英幸 大阪市長
(左から)

世界160もの国々の英知が結集する万博会場で、多様な文化や価値観に触れ、未来社会の一端を体験することは、子どもや若者たちにとって、将来自らがチャレンジしていくための「道しるべ」になると考えます。次代を担う子どもたちのためにも、大阪府・市も関係者の皆さんと一丸となって万博の成功に向けて取り組みます！

横山英幸 大阪市長



ケルケンティスBIE事務局長と
齋藤経済産業大臣



建設が進む大阪ヘルスケアパビリオン



25年後の「ミライの自分」と
出逢う体験



「ミライの都市」体験展示

今週の週報の内容

1. 海外パビリオンの状況

- ・ 5/20 北欧5か国共同館着工

2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- ・ 5/20 大屋根リングライトアップ
- ・ 5/23 店舗内決済等にNECの顔認証技術導入発表
- ・ 5/24 飲食・物販施設の二次公募結果発表
- ・ 5/24 京都国立博物館・奈良国立博物館が万博会期中に国宝展示イベント実施を発表
- ・ 5/27 大阪・関西万博予算執行監視委員会第3回開催

3. 販売・募集の状況

- ・ チケット販売: 218万8,781枚 (5/22 現在)
- ・ ボランティア募集: 55,634人(確定値)

万博で会いましょう!



今週の大阪・関西万博 **週報** (5/22~5/27)
 ~ 開催まで あと **320** 日です! ~

1. 海外パビリオンの状況

- 5/20 (月)、タイプAで参加する北欧5ヶ国 (アイスランド・スウェーデン・デンマーク・ノルウェー・フィンランド) の共同パビリオンが着工。閉幕後の再利用を念頭に置いた木造建築。展示スペース以外に屋上部にカフェを併設。自然と人との関わりを軸にした「北欧モデル」を紹介する展示を予定。



写真：北欧パビリオン（駐日フィンランド大使館）

<https://x.com/finembtokyo/status/1793099698934329345?s=46&t=MVVvIreq14TYGSFynyjmoQ>

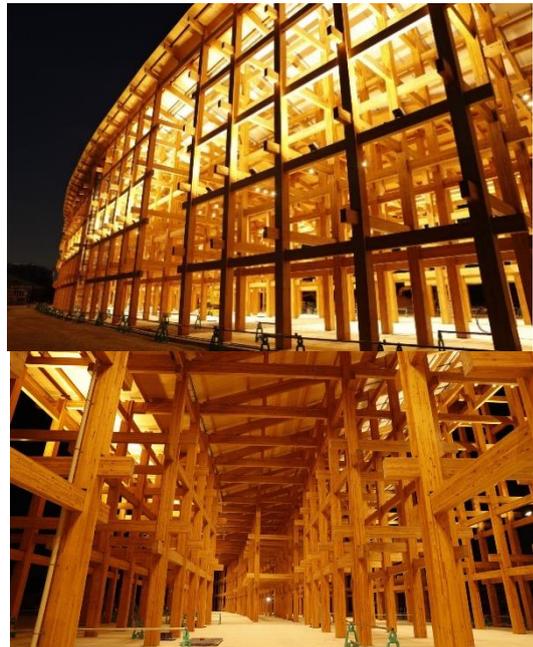
【現在の参加国等の状況】(5月23日現在)

- ・公式参加契約締結国数：101 か国
- ・敷地を引き渡した国： 41 か国

- ・施工事業者が決まった国：39 か国
- ・着工済みの国： 29 か国

2. 先週までの主な活動／今週以降の予定

- 5/21（火）、大屋根リングを初めて夜間にライトアップし、報道関係者に公開。
（なお、同リングは既に約9割の木組が完成済み）。



【出典】 https://x.com/expo2025_japan/status/1792898597077283247?t=NjsI2g-sr6Uub7L7cVQ_yw&s=19

- 5/23（木）、博覧会協会は、店舗内での決済と会場の入場管理に日本電気株式会社（NEC）の顔認証技術を導入する旨を発表。電子マネーと顔認証を紐づける決済システム運用としては、国内最大規模。事前に顔情報と決済方法を登録すれば、対象店舗での購買が手ぶらで可能に。入場ゲートでは、複数回の入場が可能なパス（通期パス・夏パス等）利用者の「なりすまし」防止を図る。

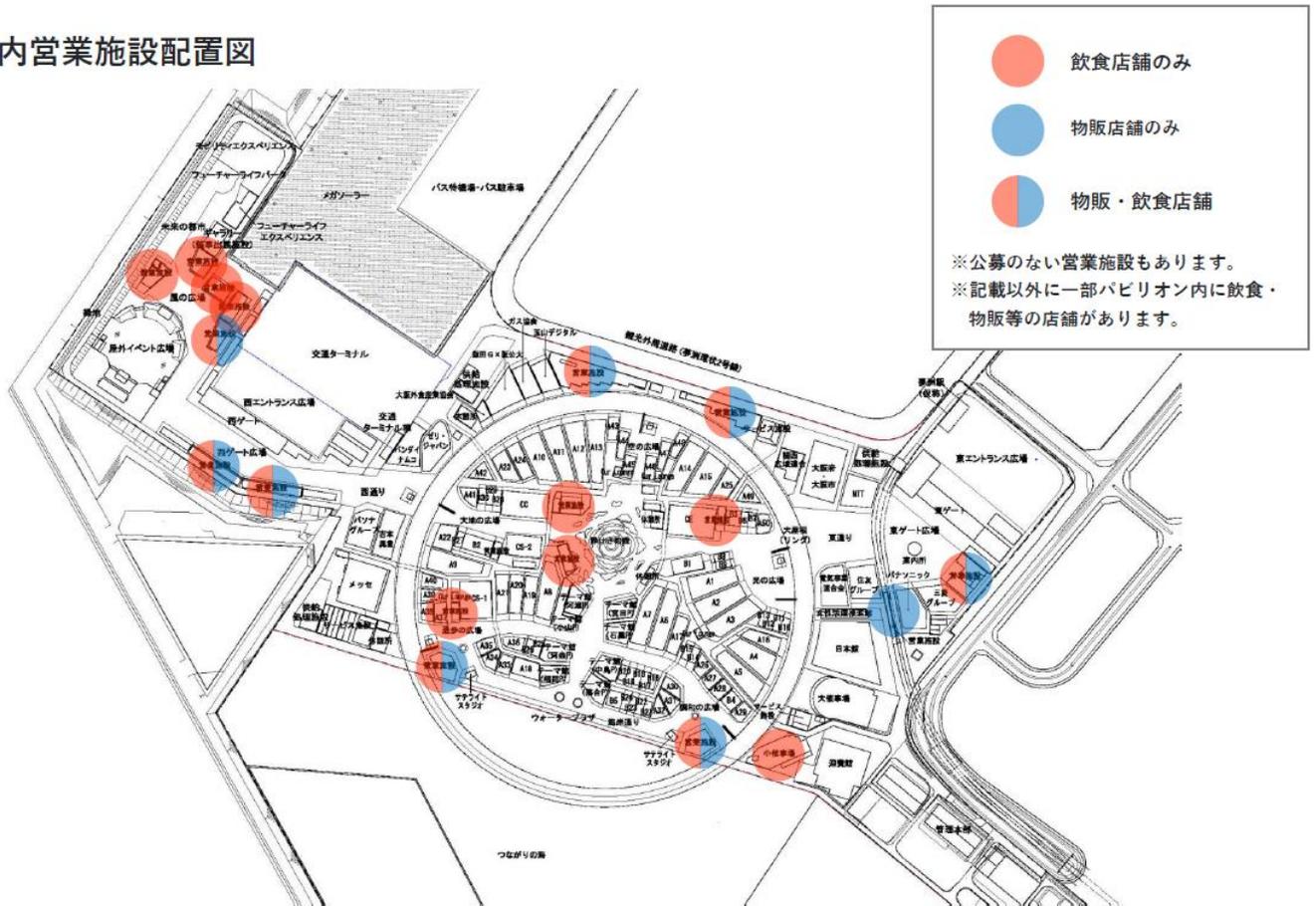


顔認証を活用した店舗決済イメージ（画像提供：NEC）

【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240523-02/>

- 5/24(金)、会場で飲食・物販施設を運営する事業者候補の二次公募結果を公表。
一次公募で決定した6店舗に加えて、新たに32店舗が選定。今後、未決定区画(18区画)の再公募が行われるほか、キッチンカー(24店舗)についても公募予定。

会場内営業施設配置図



<飲食店舗>

- ・ レストラン／カフェテリア（ラーメン、カレー、牛カツ、韓国料理、アフリカ料理、多国籍料理等）
- ・ EARTH TABLE～未来食堂～（食の常識が大きく変わるこれからの食環境や食べる価値についての見直しができるような未来志向の飲食施設）
- ・ カフェ
- ・ ファストフード（おにぎり、うどん、エスニック料理、中華料理、韓国料理、トルコ料理等）

<物販店舗>

- ・ JAPAN マルシェ
（日本各地の食・文化や歴史などの地域性を感じながら地産品や工芸などの買い物やスナックフードを楽しんでいただく横丁形式のマルシェ）
- ・ 各種ショップ
- ・ コンビニエンスストア

【出典】 博覧会協会 HP <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240216-01/>

□ 5/24（金）、京都国立博物館と奈良国立博物館が、万博期間中の2ヶ月間（2025年4月29日～6月15日）に国宝展示イベントを実施すると発表。北斎の「神奈川冲浪裏」、俵屋宗達の「風神雷神図屏風」、菩薩半跏像（伝如意輪観音）など、数々の国宝を展示予定。

【出典】奈良国立博物館 https://www.narahaku.go.jp/news/20240524_11311/

【出展】美術展ナビ <https://artexhibition.jp/topics/news/20240524-AEJ2079643/>

□ 5/27（月）、経済産業省において「大阪・関西万博予算執行監視委員会」（第3回）を開催。これまでの委員から提起された点を踏まえて経済産業省として協会に要請した事項を整理。今後、建設費については概ね二週間毎に契約額の推移を表形式で整理して執行管理を行うことなどを議論。海外パビリオンの建設状況、運営費の執行管理のあり方についても議論。（数日以内に議事概要を公表予定）

<今後の予定>

・ 6/17（月）博覧会国際事務局（BIE）総会

- ・ 6/1（土）～2（日） 前橋競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/6（木）～9（日） 奈良競輪、函館競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/13（木）～16（日） 岸和田競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/22（土）～23（日） 久留米競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/29（土）～30（日） 取手競輪での万博PRブース出展

3. 販売・募集の状況

◇ チケット販売枚数 : 218万8,781枚 (2024年5月22日現在)

◇ ボランティア募集 : 応募総数 55,634人 (確定値)

多くの方からご応募いただいたこと等を踏まえ、登録数を2万人から3万人に拡大し、会場ボランティアでは14,000人、大阪まちボランティアでは16,000人を登録予定。応募者へは6月3日(月)から抽選結果を通知予定。

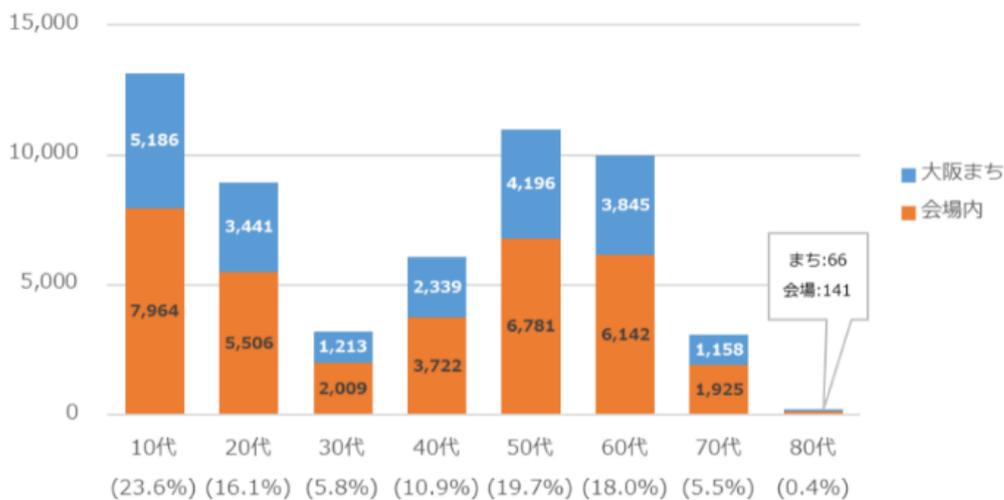
<応募結果>



※両方に応募した方20,204人を含む。

<応募者数の詳細>

・年代別



【出典】 博覧会協会 HP <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240527-04/>

4. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1) 夢洲1区で1日約2トンのメタンガスが発生

指摘事項

- 大阪広域環境施設組合の調査で、昨年夏期に夢洲1区において、1日に約2トン発生していたことが判明。

【事実関係】

○大阪市立環境科学研究センターの令和5年度報告書によると、夢洲1区全体からのメタン総発生量は夏期約2,000kg/日、冬期が約1,500kg/日。

○メタンガスの事故防止には、量ではなく濃度が重要。そのため、全ての作業前にガス濃度を測定し、基準値未満となったことを確認してから（基準値以上となった場合は換気等を実施後に）作業を開始。また、配管ピットがある作業現場において火器作業を行う場合は、床上の作業であっても、配管ピット内の濃度測定を実施している。

<参考>夢洲地区メタン総発生量

令和3年度（夏期）580kg/日（冬期）1,200kg/日

令和4年度（夏期）810kg/日（冬期）1,400kg/日

令和5年度（夏期）1,989kg/日（冬期）1,546kg/日

指摘事項

- 今回の爆発事故を踏まえた開催中の再発防止策は何も示されていない。

【事実関係】

○会期中の再発防止策についても、会場全体でのガス計測の実施等について、専門家の意見を聞きながらとりまとめる予定。

○なお、パビリオンが多く立地する区画（パビリオンワールドエ区）については、これまでの地表付近の濃度測定では埋立てガスは検出されておらず、地表付近における埋立ガスの発生の可能性は極めて低いと考えられるところであるが、パビリオンワールドエ区を含め、万博会場内のガス濃度の測定を継続実施しているところ。

指摘事項

■ 夢洲2区、3区の会場区域については地下鉄工事でメタンガスが見つかったにもかかわらず、協会は「地表付近でのガス発生の可能性は極めて低い」とリスクから目をそらしている。

【事実関係】

- 地下鉄工事の際に、令和2年に大阪港湾局が実施したボーリング調査において、会場区域の地下でメタンガスを検知したことは事実。
- 他方で、会場内での配管ピットの工事に際して、約260地点でガス測定を実施。これまで地表付近からメタンガスは検出されていないところ。

(2) 5月27日 工事の全容がわかる写真を追加でメディアに提供

